

人と交わり人と話す、そして腹から笑え！

高齢者を対象にした「なごやか寄り合い」事業をご存じでしょうか。地域ごとに気の合った仲間が集まり、お茶を飲んだり、おしゃべりしたり、時には講師を招いてお話を聞きながら、皆で楽しいひと時を過ごす集まりの事です。

現在市内の四〇〇近い地区でこの事業が展開されており、ここ川津でも15地区でこの寄り合い事業が行われています。

先日ある「なごやか寄り合い」からお座敷がかりました。「元気が出るような面白い話を」「難しい話だと睡魔に襲われる」など、「なごやか」ならではの注文を受け、雑談でもよければと男芸者よろしく引き受けました。

会場には人生の円熟期を迎えた女性陣のみで、男性の姿は見当たりません。やおら自己紹介のつもりで若き日々の

ことを話し始めると、早速お姉さま方から「奥様との馴れ初めは？」と誠にフランクな質問が飛んできました。お茶をいただけるながら、皆さんと自由なやり取りを交えた私の漫談は、文字通りなごやかなうちに進み、あっという間に一時間が過ぎてしまいました。終わってみれば参加者の皆さんの澆刺とした姿に、こちらが元気をいただいた結果になりました。

それにしても公民館利用をはじめ、このような場への参加は圧倒的に女性が多いようです。「人と交わり人と話す、そして腹から笑う」この最も人間的な営みに積極的か否かが、心身の健康にも大きく影響するように思えます。女性の健康寿命が男性を上回っているのもうなずけますね。男どもよ覚醒せよ。